

# 新しい市民交流拠点計画（愛称は市民から公募）

設計の考え方	跡地利用基本構想の基本方針を踏まえた「設計コンセプト」である、「賑わいのある公園」「人や環境、すべてにやさしい施設」「まちづくりの一助となる施設」の3つのコンセプトを、可能な限り反映できるように検討。				
計画イメージ図					
建築物概要	<p>■計画建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造種別 : 鉄骨鉄筋コンクリート造</li> <li>・建物規模 : 地上4階</li> <li>・延床面積 : 6,071㎡</li> </ul>	<p>&lt;参考&gt;</p> <p>■既存建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造種別 : 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）</li> <li>・建物規模 : 地上7階、塔屋2階、地下2階</li> <li>・延床面積 : 30,352.96㎡</li> </ul>			
施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場 : 30台（うち車いす利用者用2台）</li> <li>・広場 : 敷地東側に、憩いの場、交流の場となる広場を設置</li> </ul>				
工法種別	解体工事	地上5階から7階の鉄骨造10,452.66㎡を全解体 地上1階から4階の鉄骨鉄筋コンクリート造9,500.91㎡を部分解体 基礎、杭及び地下2階部分は残置			
	改修工事	地上4階建、延床面積5,881㎡の外壁、内装、設備を改修			
	新築工事	地上2階建、延床面積190㎡を増築			
イニシャルコスト	項目	概算工事費（税込）	財源	スケジュール（予定）	
	解体工事	約620百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫：地方創生拠点整備交付金</li> <li>・地方債：合併特例債</li> <li>・まちづくり振興基金</li> <li>・一般財源</li> </ul>		実施設計
	改修工事	約950百万円		令和4年度	令和5年度 ～令和6年度
	新築工事	約160百万円			
	外構工事	約60百万円			
合計	約1,790百万円				
ランニングコスト	光熱費コスト 約6百万円/年（クリーンエネルギー導入により、コスト削減を図る）				
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存躯体を利用するため、新築に比べて床面積を多く確保することが可能。</li> <li>・公共施設の機能集約が可能になる。</li> <li>・躯体を再利用するため、SDGsに貢献する。</li> </ul>				
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存躯体を利用するため、計画の柔軟性は新築に比べ低い。</li> <li>・耐用年数は新築に比べると短い。</li> </ul>				
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延床面積を多く確保でき、公共施設の機能集約が可能となる。</li> <li>・新たな建物に複合機能を導入することで、人流が生み出され、片上のまちの賑わいやまちの活性化の一助となる。</li> <li>・おもちゃ広場に、数多くのおもちゃや遊具を配置することで、子供から大人まで誰もが利用しやすい、賑わい空間を創出することができる。</li> <li>・一次避難所、防災用備蓄庫を設置することで、既存の避難施設と連携し、緊急時の防災補完機能を確保することができる。</li> </ul>				